

平成24年度第1回・熊本市行財政改革推進委員会 議事録（要旨）

1 日 時

平成24年7月27日（金） 午前10時から午前12時まで

2 場 所

熊本市役所 庁舎4階モニター室

3 出席委員（敬称略、順不同）7名

明石照久（会長）、西橋久美子（副会長）、西村まりこ、佐々木義博、工藤明美、遊佐淑代、河野勝

※欠席委員

松岡茂

4 配布資料

- ・資料1 熊本市の組織について
- ・資料2 熊本市の財政状況について
- ・資料3 行財政改革計画の23年度の取り組みについて  
行財政改革計画の24年度実施計画について

5 次第

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 副市長挨拶

(4) 委員紹介

(5) 事務局職員紹介

(6) 会長、副会長選出

(7) 会長挨拶

(8) 概要説明

ア 行財政改革計画の概要について

イ 熊本市の組織について【資料1】

ウ 熊本市の財政状況について【資料2】

(9) 議事

議題ア 行財政改革計画の23年度の取り組みについて【資料3】

議題イ 行財政改革計画の24年度実施計画について【資料3】

(10) その他

(11) 閉会

## 6 議事録（要旨）

明石会長	<ul style="list-style-type: none"><li>・議題ア 行財政改革計画の23年度の取り組みについて、事務局より説明願いたい。</li></ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料3に基づいて説明。</li></ul>
明石会長	<ul style="list-style-type: none"><li>・ご意見ご質問等はないか。</li><li>・質問がないようなので、議題イの行財政改革計画の24年度実施計画について、事務局より説明願いたい。</li></ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料3に基づいて説明。</li></ul>
明石会長	<ul style="list-style-type: none"><li>・ご意見ご質問等はないか。</li></ul>
西橋委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・7ページ「民間委託の推進」で、燃やすごみ・紙収集業務委託を現在3割実施しているとのことだが、平成25年度に拡大を予定しているのが2割とある。合計で5割実施することになるが、達成できそうか。</li></ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"><li>・5割達成を目指し関係機関と調整しながら進めている。現在、委託している地区割りを見直す必要があるため検討しているところである。</li></ul>
工藤委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・6ページ「保育サービスの充実」について、家庭保育事業を3ヶ所実施するとあるが、どこか。</li></ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育需要調査を実施し、保育需要が高く保育所整備が困難なところに実施することとしているが、具体的な場所はまだ決まっていない。</li></ul>
財政局長	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域でいうと東部地域で保育所が不足している。南部、北部も若干不足しているところがある。3ヶ所は具体的には決まっていないが不足している地域で実施する。</li></ul>
河野委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・7ページ「財政の健全化」の中で、市営駐輪場が6月1日から有料化されたが、6月の状況はどうだったか。</li></ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"><li>・街中の放置自転車は減っている。駐輪マナーもきちんとされているので、円滑な移行ができたのではないかと思う。</li></ul>

総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、指導員を置いて駐輪場の案内をしているので、有料化は概ね円滑に導入できたと思う。ただ、夕方から夜間に放置自転車が見られるため、夜間にも指導員を配置する計画がある。</li> </ul>
河野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員は今後もずっと継続していくのか。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のところ、シルバー人材センターに委託し、朝から主要な場所で案内業務を行っている。</li> </ul>
河野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放置自転車がなくなりだいぶすっきりしてきたように思う。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ点々と放置自転車が残っているが、強制撤去しているので、少しずつだがマナーを守っていただけるようになるかと思う。</li> </ul>
西橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強制撤去したときにトラブルはなかったか。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は、自転車を引き取りに来られた際に、知らなかった、周知徹底してほしいと言われた方もいたが、現在ではそのようなことはないと聞いている。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7ページ「民間委託の推進」について、民間委託した仕事に今まで従事していた職員はどうなったのか。</li> <li>・街中の駐輪場だが、借り上げて駐輪場としているところがある。放置自転車のためにはいいかもしれないが、経費的にはどうなのか。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場について、市が持っている5箇所の駐輪場については市が経営している。</li> <li>・これまで、市が民間の土地を借りて、運営は民間が行っていたところがあったが、今回の有料化に際して、市が機材等の補助をするので、自分の土地で経営しませんかという募集をした。市が土地を借りるのではなく、民間が自分達で経営する形になる。</li> <li>・ラックや入庫の際の機械装置など機材等は必要になるので、市が補助をするという形でやっている。補助分の負担は発生するが、今までより経費は安くなっている。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託に伴い職員がどうなるのかという質問であるが、民間のリストラとは違うので、退職者が出る部署等への再配置を中期定員管理計画に基づいて行っている。</li> <li>・ある程度再配置を見込んで計画的に民間委託を進めている。</li> </ul>

明石会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他、ご質問ご意見等ないか。</li> </ul>
佐々木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度が始まって10年程経つが、熊本市で24年度以降指定管理者へ移行する施設、また、指定管理者から直営に戻す施設はあるか。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本市の指定管理者導入施設は399施設ある。平成24年度は熊本市斎場について導入に向けて協議を進めているところであるが、今後、残りの公共施設のあり方について検討していく必要がある。</li> <li>・今のところ、直営に戻す必要がある施設はないと考えている。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度は、民間のノウハウをもって経営していただくという制度であるので、それぞれの指定管理者が独自の取り組み、サービスの提供を行っている状況である。住民の方からの評価も高いので直営に戻す施設はないというところである。</li> </ul>
佐々木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の市町村では直営に戻すところもある。サービスが悪くなるというよりも、指定管理者そのものが育っていかない、ノウハウの蓄積ができないという問題があるようだ。検証し考えていただきたい。</li> </ul>
明石会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他、ご意見ご質問等よろしいか。</li> <li>・それでは本日説明された全体、熊本市の行財政改革全般についてお一人ずつご意見等あればお願いします。</li> </ul>
河野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辛島地下駐車場の場所が分かりにくい。せっかく作ったのだから一般の人が分かりやすいような駐車場でなければいけないのではないか。駐車場があることさえ知らない人もいる。入り口も分かりづらい。利用状況等を教えてほしい。</li> </ul>
財政局次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用台数はここ数年減少傾向だったが、平成23年度は持ち直してきた。指定管理者に移行し経営しているが、駐車場をもっとPRすることも含めてお願いしており、駐車場のサインのあり方、広報のあり方等の工夫をしている。</li> <li>・地下通路も同じ業者に委託しているので、地下通路に広告を掲示するなど地下駐車場のことを知ってもらう努力もしている。また、利用時間も以前は早く閉めていたが、今は夜1時まで開いている。こういう努力が利用台数増につながっていると思う。</li> </ul>
河野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本市の一番いい場所に駐車場があるにも関わらず、知らないということが問題ではないか。入りにくいということもあると思う。あ</li> </ul>

遊佐委員	<p>れだけのものを作ったのだから利用してもらわないといけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「民間提案による市民サービスの見直し」のモデル事業である市税の初期滞納対策事業は、各自治体の悩みの種だと思う。現在どのような提案が出ているのか。</li> <li>・区役所が新しく設置されたが、どういうときに区役所に行けば用が済ませられるのか、どういう利用の仕方があるのか、まだ詳細に区民に知らされておらず、把握できていない。今後、期待したい。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市税の初期滞納対策事業について、民間提案型という初めての取り組みを行っているところである。</li> <li>・今までは官がやるのが当然とされていた業務を、民間がいかにか担うことができるかということで提案を募り、民間からの提案と官の提案を比較し、民間の提案を採用することとなった。</li> <li>・実施する内容は電話による納付案内である。滞納している方の中にはうっかり忘れている方が非常に多く、電話をかけることで納付率が上がるというデータを基に民間で取り組むこととしている。実施は9月以降だが、効果に期待している。</li> </ul>
工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民参画と協働の推進」について、協働といいつつ民間にただ投げているのではないかという意見もある。平成23年度に条例をつくり協働を推進してどういう成果があがっているのか。協働をどう進めていかれるのか。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が主体的に旗を振って市民の方が後をついてきたというのがこれまでの行政のスタイルだったと思う。やはりこれではいけない、もっと市民の方と一緒に行政がやるべきことを考えて、一緒に取り組んでもらおうということで、自治基本条例、市民参画と協働の推進条例を作らせていただいた。</li> <li>・市の事業の中で、現在どのくらい市民参画の取り組みをしているか、協働の取り組みをしているか確認し、もっと参画してもらえる、協働で事業ができるようなものがないかチェックしている。市全体が参画と協働の取り組みになるようにシフトしているところである。</li> <li>・また、職員に対しても、もっと参画してもらえる取り組みはどのようなものがあるか、協働の取り組みはどのようなものがあるか、事業を組み立てる段階から考えるように研修をしているところである。</li> <li>・現在、各区役所で説明会を行ったり、上通り、下通りで意見聴取をしたり様々な手法をもって取り組んでいるところである。</li> </ul>

工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域コミュニティの活性化」について、私はまちづくりに携わっているが、行政に相談に行ってもなかなか動いてくれない。</li> <li>・まちづくりを推進するとコミュニティが再生していくと思う。質が担保できるように、人を育てることなどを考えていけたらいいと思う。</li> </ul>
総務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各区役所にまちづくり推進課を、あるいは、区役所の総合出張所、出張所にまちづくり交流室を設け、区のまちづくりを進める拠点としている。</li> <li>・各区でまちづくりのビジョンを作成しているが、さらにそれを地域の中に落としこんでいけば地域でまちづくり活動をされている方々とのつながりができてくるのではないかと考えている。</li> </ul>
佐々木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3の計画目標の達成状況について、目標値はどのように出しているのか。</li> <li>・目標値が55%、50%とあるが、果たして行政評価、事業評価としてこの評価だけで行財政改革が進んでいると判断できるのか。</li> <li>・平成23年度は実績が下がっている。市民へのアンケートによる感じ方であれば、市政に問題点等があった際はこのように数値が落ちることになり、これを指標にしているのはなかなか厳しいものがあると思う。目標値と別に各事業の数値目標の積み上げはないのか。</li> <li>・3ページ「時間外勤務の縮減」について、行革では必ず人を減らすということになるが、業務も見直していくべきである。しかし市民のニーズに応えるためには業務はなかなかやめられないものもあり、このせめぎあいが行革の難しいところである。</li> <li>・平成21年度、22年度の時間外勤務は減っているが、平成23年度は政令市移行に伴いかなりの業務が増え、時間外勤務も増えているのではないかと予想される。23年度の時間外はどうだったか。</li> <li>・時間外勤務も経費がかかるものなので、縮減していくことも行革の大きな中身であると思う。24年度政令市になってからの時間外の見通しを教えて欲しい。</li> </ul>
行政経営課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画目標の設定は、市民へのアンケートの数値である。平成23年度に下がった理由は、不祥事が起きた時期とアンケートの時期が重なり、市政に対する不信感から下がっているのではないかと分析している。この数値をもって行革の達成状況とすることについてはご指摘のとおりであり、指標を補助的に検証するような指標が必要であると考えている。</li> <li>・個別の実施プログラムの中には数値目標がそれぞれあるが、全体を</li> </ul>

<p>総務局長</p>	<p>表す数値目標は前委員会からも十分でないにご指摘をいただいていたところであり、今後、経費効果をつめていく中で、行革の効果が表れてくると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの質を高めることも大きな目標の一つとしている。ただ人を減らして経費を浮かせるのではなく、サービスの質を高めるために何をしていくかも行政改革の大きな中身であるので、どのような面で、どのように質が高まっているのか検証が必要であると思う。今後検討させていただきたい。</li> <li>・人を減らし、時間外勤務も減らすのは職員に非常に負担を強いる話であるが、一方では、もっと効率的な仕事のやり方を職員に考えてもらいたいという面もあり、ワークライフバランスを実現することも行政の役割だと思っている。</li> <li>・平成 23 年度の時間外は 17.4 時間で、政令市移行に伴い年末から 3 月まで相当な時間外勤務が発生している。職員を 5 つの区に分散し、今までは 1 つの仕事をしていたのが区役所では 4 つも 5 つもしなければならぬ。事前に研修はしているが、実務を経験していない中で配置しているので、その分職員に負担がかかったと思う。</li> <li>・24 年 4 月以降についても事務処理が非効率であったり、区役所に市民の方が多数来られたということもあり、処理が追いつかず時間外が発生してしまった。どのようにして時間外を減らしていくか部署ごとに話を聞きながら対処しているところである。</li> </ul>
<p>西村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで言うことではないかもしれないが、何年前に花畑公園のごみ箱が撤去された。街路にはごみ箱があったので、散歩しながらごみを拾って捨てていたが、3 月頃このごみ箱もなくなった。コスト削減により撤去されたのか。</li> </ul>
<p>総務局長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園のごみ箱についてはいろいろと議論があり、公園にごみ箱があるから持ってきて捨てて帰る。ごみは行政が処分しなければならず費用がかかってしまう。自分達のごみは自分達で持ち帰るという考え方を徹底していくためにごみ箱を撤去した。</li> </ul>
<p>西村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花畑公園の現況はトイレの横に山ほどごみが積んである。これを片付ける方が大変ではないか。持ってきた人が一番悪いのだが市役所の人々が時々片付けているのを見る。</li> </ul>
<p>総務局長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみが溜まった状態を放置することはできないので、最終的には行政が処分するが、基本的には自分達でごみは持ち帰るというマナーを守っていただく、小中学校でも自分達のごみは自分達で持ち帰る</li> </ul>

<p>西村委員</p>	<p>という考え方に立っていただくという前提で行政の組み立てができつつあるところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民も自分達のごみは持ち帰るという意識を高めるしかない。</li> <li>・市政の様々なところで行革に取り組んでいただいていることは、我々市民にとっても非常に大事なことであるので、ご尽力いただいていることに感謝する。</li> </ul>
<p>西橋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「消費者行政の充実」について、33 ページには消費者協会のことしか書かれていない。市民を引っ張っていくような団体のことが書いてあってもいいのではないか。</li> <li>・熊本は九州で最初に消費者団体ができたところ。初めは消費者団体の視察に来るほどだったのに、だんだん活気がなくなり、拠点であった県の消費者センターもなくなった。</li> <li>・熊本市でも消費者センターの場所が何回も変わり、花畑別館から駐輪場5階に移された。相談したいという人が5階まで来るだろうか。花畑別館のときは、垂れ幕を下げてもらっていたので消費者センターがあることが分かったが、今は場所すら知られていない。相談内容はどんどん膨らんでいるのに、場所が分からないようなところにあってはいけないと思う。</li> <li>・消費者行政活動として、約30年相談を行っている団体が3団体ある。補助金も初めは100万円単位でもらっていたが、現在は年間6万円しかなく、消費者パレードをしているのみ。消費者団体がもっと勉強できるような体制にしてほしい。</li> </ul>
<p>総務局長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者センターは、産業文化会館にあったが閉鎖とともに花畑別館1階に移転した。その後、スペースが手狭であるということもあり、できるだけ多くの方に来ていただきゆっくり相談ができ、情報提供ができるようなスペースが必要であること、また、消費者センターを土日開庁する場合を考えたときに、独立した施設がいいということや、今この場所に移転することができた。</li> <li>・5階にあるので、周知徹底を図っていきたいと思う。</li> <li>・消費者センターの相談業務を、消費者協会等に委託できないかということで行革のプログラムに載せているところであるが、消費者活動そのものの充実というプログラムではないので、今後どのようなことができるのか次期計画に向け考えてまいりたい。</li> </ul>
<p>河野委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域コミュニティの活性化」について、地域コミュニティづくり支援補助金を3団体に交付とあり、私の地域の団体も入っていると思うが、補助金を実際にもらう人が少ないのに金額が多い。効果が</li> </ul>



<p>総務局長</p>	<p>あるかどうか市はチェックしているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘の補助金は別の補助金ではないかと思われるが、市が補助金を出す際は、実績を報告してもらい、その都度チェックを行うなど、限られた財源を有効に活用できるように努めている。</li> </ul>
<p>明石会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後にまとめさせていただきたい。</li> <li>・一つは政令市移行をいかに円滑に進めるか。区役所と市役所の役割分担についてである。政令市になって区役所が5つでき、今まで市役所に行っていたもののうち区役所に行けば何ができるか市民は知らない。どの区役所に行っても取れる住民票も自分の住所地の区役所でしかとれないと思っている人もいる。市民の身近につくった区役所の意味を感じてもらえるようなサービスのあり方について話がでていたと思う。</li> <li>・二つ目は、情報の流し方、出し方についてだが、熊本市はいろいろな良い事業をしているのにも関わらず、意外と知られていない。いかに知っていただくか広報の周知、徹底のあり方について指摘があった。</li> <li>・新しい公共、協働について、役所だけが地域の公共課題を担うという時代は終わった。地域住民、企業、NPOなど地域を構成する様々な主体と連携、協働して地域の課題に取り組んでいくことが大事。この役割分担や協働のあり方、進め方について、効果があがっているのか。評価の話だが、目標値とは評価論というベンチマークであり、単なるベンチマークだけでなく実績の数値も組み合わせて熊本市としての行政施策がいかに市民生活に役立っているか、その評価のあり方が課題である。</li> <li>・全国的にも財政状況は非常に厳しいが、熊本市の財政見通しは実質公債費比率が下がっており努力が推察される。ただ、経費を減らすだけではメリハリのある仕事はできない。使うところ、意味のあるところにはお金をかけないといけない。メリハリある行政システムを立ち上げていくことが必要であり、そのためにはしっかり評価ができ、評価結果をフィードバックして計画や予算へ反映できるように、政令市移行を機にこれまで以上に徹底して進めてもらうのがこの行財政改革の一つの方向であると思う。</li> <li>・コンプライアンスについて、職員の法令遵守は当然であるが、もう一つは負担の公平の問題。税金を納めないで得をするという話にな</li> </ul>

るといけないのでしっかりと厳正な執行をする。ここも重要な視点だと思ふ。

- 行政は行政にしかできない仕事に力を注ぎ、民間の力を活用できるものについては民間の力を活用させてもらい、市民とも協働して進める。委員からも意見が出たが、協働とは、行政の仕事を市民に丸投げし行政の負担を軽くするというのではない。公共の課題、行政として担うべき責務が一体何で、どういったところに力を注ぐのが最も市民サービス向上に役立つのか、その観点を常に持ちながら臨んでもらいたい。
- 職員の意識改革についてだが、自治体の仕事は基本的には人的要素に依存することが大きい仕事なので、職員がその気にならないとサービス向上がなかなか市民に理解されるまでには至らない。職員が市民の満足度向上のためにどういうことができるか、自分達は一体何のために雇われているのかということをしかりと認識し、職員としての倫理観を醸成していく仕掛け、仕組みづくりがこれからの行財政改革の非常に重要なポイントになると思ふ。
- 委員の皆様から貴重なご指摘ご意見をいただいたので、次の施策の展開に反映させていただければありがたいと思ふ。

これをもって議事を終了する。